

# 調布「憲法ひろば」

WEB サイト <http://www.geocities.jp/chofu9jou/index.html>

第16号

12月24日  
2005年

発行＝憲法「九条の会」調布のひろば

〒182-8511 調布市国領町 2-5-15  
あくろす2階 市民活動支援センター内  
メールボックス6番  
FAX 番号：0424-83-1566 大野気付

E-Mail：chofu9jou@yahoo.co.jp

調布「憲法ひろば」

## 06年1月例会のご案内

●1月22日(日) 13時半～●

「憲法国民投票法案のお話」

布田在住の弁護士 笹本潤さん

会場は国領駅前「あくろす」3階ホール

# 赤ちゃんの頭なぜたら崩れ落ちた！



写真上4枚は田邊さん  
左は司会の津田橋冬さん

火の玉の中に頭を突っ込んだような熱さ。太陽が爆発したか？雷が落ちたか？燃え上がる瓦礫の山から、友人を引きずり出せば足が千切れ、おぼさんを引き出せば耳がちぎれる。死んでいる赤ちゃんの頭をなげると崩れて灰になる。「こんなことは二度と起こってはならない」と、じっと眼を閉じる田邊さんです。

## 広島の惨状を越えてきた眼と手に力こめて

### 第10回「憲法ひろば」

12月23日の午後、あくろすホールで開いた第10回「憲法ひろば」。37人が参加しました。

今回は「戦中・戦後の体験を聴く」のパート3。下石原在住の田邊さんから広島での被爆体験を聴きました。

「語ることが被爆者の使命」と厳しく自分に課している田邊さん。80歳を過ぎたとは言え、話しはじめると、原爆に灼かれた手足、地獄を見た眼に力が入ります。パネルとスライドを駆使し、被爆の惨状を明らかにしながら、ご自分の身体と心の痛み、無残な被爆現場のありさまを訴えました。

写真右＝真剣に話に聴き入る参加者

### 田邊三郎さんの原爆被爆体験

## その時私は学生だった



田邊さんのお話が一区切りしたところでテーブルを並べかえて、お茶とお菓子を配って「望年会」に切り替えました。田邊さんの話を敷衍する発言、憲法を書き写す「写憲運動」や元米海兵隊員のアレンさんの演説を「英語で読む会」、沖繩「写真展」などの提唱が相次ぎ、来年は「ささやかでもアッチこっちでやろう」と話し合いました。九月から十二月にかけてピースボートに乗船した上石原の鶴沢さん（上写真で発言中）が「日本国憲法」のユニカーマン監督らと「ピースボート九条の会」を立ち上げたという話も印象的でした。来年は日本国憲法にとって正念場！良い年にしましょう。

### 和やかに「望年会」

